

# 2026年3月期第2四半期 決算説明資料



当社建造 21万1千トン型LNG/MGO 二元燃料撤積運搬船



株式会社 **名村造船所**  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.

**2025年11月**

# 当社グループの主要構成



株式会社 名村造船所  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.



函館どつく株式会社



佐世保重工業株式会社



事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新造船事業</li> <li>鉄構事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新造船事業</li> <li>修繕船事業</li> <li>鉄構陸機事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕船事業</li> <li>舶用機械事業</li> </ul>
設立	1931年4月 (創業1911年)	1984年11月 (創業1896年)	1961年7月 (創業1946年)
資本金 ('25年3月末)	82億円	1億円[96%]	1億円[100%]
売上高 ('25年3月期)	1,592億円(連結) 1,270億円(単体)	356億円	150億円 (同社グループ連結)
事業所等	大阪市、佐賀県伊万里市他	北海道函館市、室蘭市他	長崎県佐世保市他

[ ]内%は名村造船所グループによる持株比率

# 2026年3月期第2四半期実績 連結P/L



- ◆ 新造船事業は主力商品であるハンディ型撤積運搬船を軸にLNG二元燃料船を含む大型撤積運搬船などの工事が順調に進捗
- ◆ 売上高平均レートが前年同期に比べ2.5円の円高
- ◆ 総じて期初の計画通りに推移

(単位：億円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)		期初予想 に対する 進捗率
売上高	783	726	△ 57	△ 7.2%	46.0%
営業利益	151	108	△ 43	△ 28.6%	51.3%
経常利益	146	114	△ 32	△ 22.0%	54.2%
中間純利益	143	82	△ 61	△ 42.6%	54.6%

※億円未満は四捨五入

# 第2四半期決算の為替レート



◆ 売上高平均レートは**146.75円/米ドル**となり前年同期比**2.5円**の**円高**

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	差 額
売上高平均レート (円/米ドル)	<b>149.26円</b>	<b>146.75円</b>	<b>2.51円 円高</b>
決算期末レート (円/米ドル)	<b>142.73円</b>	<b>148.88円</b>	<b>6.15円 円安</b>

※売上高平均レート：為替予約済レートを含む円換算売上高総額 ÷ ドル建て売上高総額  
(未入金かつ未予約のドル建て売上高は期末レートで円換算)

# 2026年3月期第2四半期実績 セグメント別売上高



- ◆ 新造船事業は前年同期比7.2%の減収
  - ハンディ型撤積運搬船の連続建造効果があった前年同期に比して、大型撤積運搬船やVLGC(大型LPG船)をハンディ型撤積運搬船と並ぶ主力商品、準主力商品にする戦略への移行期と位置付けることにより一時的に操業量が低下
  - 前年同期比2.5円の円高
- ◆ 修繕船事業は14.2%の減収、鉄構・機械事業は16.8%の増収

売上高 (単位：億円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	
新造船	623	578	△ 45	△ 7.2%
修繕船	103	88	△ 15	△ 14.2%
鉄構・機械	25	29	4	16.8%
その他	32	31	△ 1	△ 4.5%
計	783	726	△ 57	△ 7.2%

※億円未満は四捨五入

# 2026年3月期第2四半期実績 セグメント別営業利益



## ◆ 新造船事業は23.5%の減益

- 主力商品等の戦略の移行期により一時的に操業量が低下
- 前期比円高に加え、材料費高騰と人件費上昇

## ◆ 修繕船事業は55.6%の減益

- 主力の国内艦艇の上半期の工事量が低水準、民間船や米艦艇でもカバーできず

## ◆ 鉄構・機械事業は舶用機械部門で事業環境改善、調達先多様化等により増益

営業利益 (単位：億円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	
新造船	144	110	△ 34	△ 23.5%
修繕船	16	7	△ 9	△ 55.6%
鉄構・機械	0	2	2	-
その他	3	4	1	52.1%
消去又は全社	△ 12	△ 15	△ 3	-
計	151	108	△ 43	△ 28.6%

※億円未満は四捨五入

- ◆ 新造船部門は円高の影響で減収となるものの、新開発のハンディ型撤積運搬船「HIGH BULK40SE」が環境性能で高い評価を得ている
- ◆ 修繕船部門は艦艇の大型工事が下期にずれ込んだことで、工事量が計画を下回った影響で減収

(単位：億円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	
売上高	175	151	△ 24	△ 13.9%
営業利益	32	14	△ 18	△ 55.9%
経常利益	30	14	△ 16	△ 54.0%
中間純利益	34	9	△ 25	△ 73.9%

※億円未満は四捨五入

- ◆ 売上高は修繕船部門で技術難易度が高い特殊船や米軍艦艇・巡視船の修理工事への積極取組に加え、機械部門の舶用エンジン向けクランクシャフトの事業環境の改善による稼働率向上により16%の増収
- ◆ 利益面では主力である国内艦艇の工事量が低水準で推移したが、民間船等の取組でカバーできず、夏場の操業量が低下したことで減益

(単位：億円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	
売上高	61	71	10	16.0%
営業利益	10	7	△ 3	△ 33.3%
経常利益	11	8	△ 3	△ 24.7%
中間純利益	12	8	△ 4	△ 31.8%

※億円未満は四捨五入

◆ 2026年3月期第2四半期完工隻数：**9隻**  
(大型撤積運搬船1隻、ハンディ型撤積運搬船等8隻)

◆ 2025年3月期第2四半期完工隻数：**15隻**  
(VLGC 1隻、ハンディ型撤積運搬船14隻)

※VLGC：LPG二元燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船

ハンディ型撤積運搬船



大型撤積運搬船



# 2026年3月期第2四半期末 連結B/S



- ◆ 総資産は、営業利益の計上や投資有価証券の時価上昇等に加え、新造船の受注増による現金及び預金の増加などにより**242億円**増加
- ◆ 負債は新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加などにより**108億円**増加
- ◆ 純資産は利益計上等により**134億円**増加

(単位：億円)

	前期末 (2025年3月期)	当第2四半期末 (2026年3月期 第2四半期)	増減
流動資産	1,413	1,548	135
固定資産	677	784	107
資産合計	2,090	2,332	242

	前期末 (2025年3月期)	当第2四半期末 (2026年3月期 第2四半期)	増減
流動負債	784	860	76
固定負債	255	286	31
株主資本	844	907	64
その他 純資産	207	278	71
負債・純資産 合計	2,090	2,332	242

※億円未満は四捨五入

# 2026年3月期第2四半期末 連結財政状態



- ◆ 自己資本比率は50.5%に増加（0.5ポイント増加）
- ◆ 有利子負債比率は13.9%と健全な状態
- 中核事業の運転資金負担の特異性、環境対応船への対応、設備更新と増強、スマートファクトリー化等への資金需要増に向け資金調達の方策を検討・実施

(単位：億円)	前期末 (2025年3月期)	当第2四半期末 (2026年3月期 第2四半期)	増減
<b>総資産</b>	<b>2,090</b>	<b>2,332</b>	<b>242</b>
<b>負債</b>	<b>1,039</b>	<b>1,147</b>	<b>108</b>
<b>内有利子負債</b>	<b>177</b>	<b>164</b>	△ <b>13</b>
<b>純資産</b>	<b>1,051</b>	<b>1,185</b>	<b>134</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.5%</b>	<b>0.5ポイント</b>
<b>有利子負債比率</b>	<b>17.0%</b>	<b>13.9%</b>	△ <b>3.1ポイント</b>

※億円未満は四捨五入

# 2026年3月期第2四半期実績 受注残高（連結）



- ◆ 新造船事業の受注残高は**4,327億円**（前年同期比17.4%増加）
- 環境規制に適応した**大型撤積運搬船5隻**、**ハンディ型撤積運搬船5隻**を受注

(単位：億円)	前第2四半期末 (2025年3月期 第2四半期)	当第2四半期末 (2026年3月期 第2四半期)	増減（増減率）	
	新造船	3,685	4,327	642
修繕船	101	99	△ 2	△ 2.6%
鉄構・機械	69	55	△ 14	△ 20.3%
その他	22	17	△ 5	△ 23.7%
計	3,878	4,498	620	16.0%

※億円未満は四捨五入

# 2026年3月期 通期連結業績予想



- ◆ 通期業績予想は5月13日公表値を据え置き
- ◆ 当第2四半期時点の進捗率は売上高46.0%、営業利益51.3%、経常利益54.2%、当期純利益54.6%と計画通りに推移

(単位：億円)	2026年3月期 通期業績予想 A (5月13日公表)	2026年3月期 通期業績予想 B (11月10日公表)	差異 (B-A)	(ご参考) 当第2四半期 実績	進捗率
売上高	1,580	1,580	-	726	46.0%
営業利益	210	210	-	108	51.3%
経常利益	210	210	-	114	54.2%
当期純利益	150	150	-	82	54.6%

※億円は四捨五入

※未ヘッジ外貨の為替レートは145円/米ドル前提（5月公表、11月公表とも同じ）

# 連結子会社 2026年3月期通期業績予想



◆ 概ね計画通りに進捗しており、通期業績予想は5月13日公表値を据え置き

函館どつく	2026年3月期 通期業績予想 A (5月13日 公表)	2026年3月期 通期業績予想 B (11月10日 公表)	(ご参考) 当第2 四半期 実績	佐世保重工業	2026年3月期 通期業績予想 A (5月13日 公表)	2026年3月期 通期業績予想 B (11月10日 公表)	(ご参考) 当第2 四半期 実績
	(単位：億円)				(単位：億円)		
売上高	330	330	152	売上高	160	160	71
営業利益	38	38	14	営業利益	16	16	7
経常利益	34	34	14	経常利益	18	18	8
当期 純利益	22	22	9	当期 純利益	18	18	8

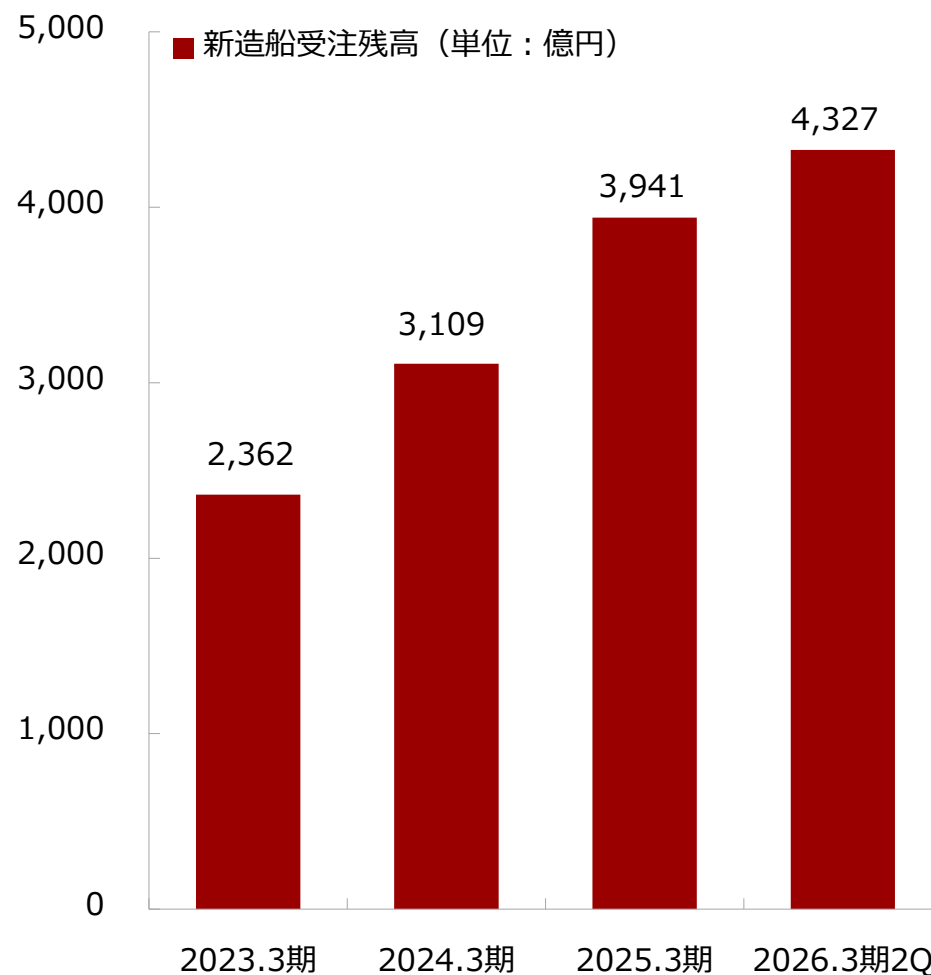
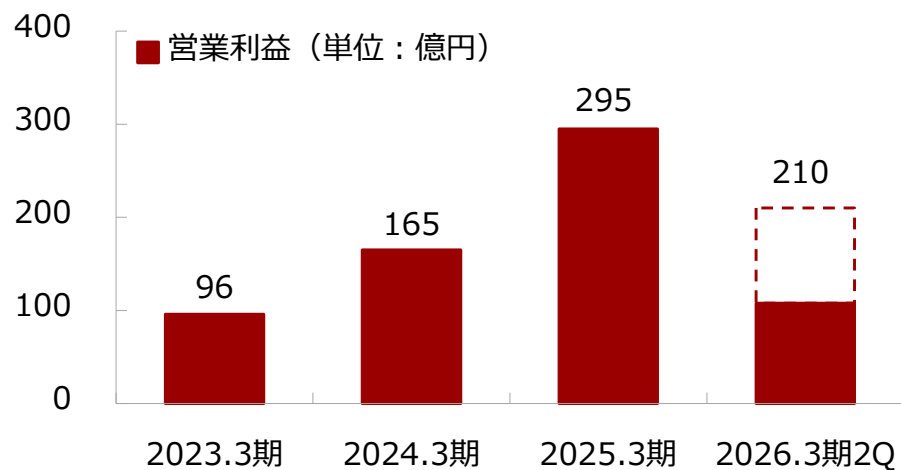
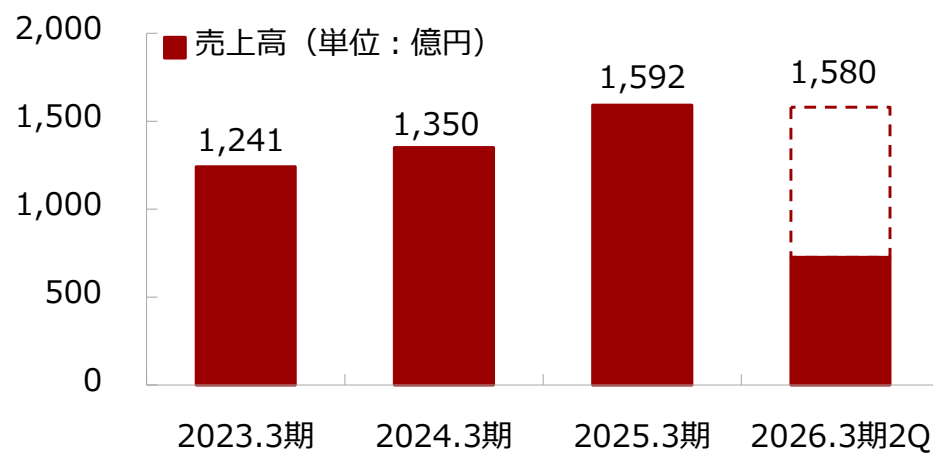
※億円は四捨五入

※未ヘッジ外貨の為替レートは145円/米ドル前提（5月公表、11月公表とも同じ）

# 2026年3月期 通期連結業績予想ハイライト



- ◆ 売上高および営業利益ともに前期比で減少したが、いずれも**期初計画通り順調に進捗**
- ◆ 新造船受注残高は堅調な受注環境を背景に引き続き積み上げている



## 基本方針

安定的かつ  
継続的な配当に  
よる株主還元

グループの  
経営基盤の  
強化

新たな  
事業展開等による  
企業価値拡大への  
挑戦

◆ 中間期業績は、概ね計画通りに進捗

➤ 2026年3月期の配当は

中間20円（実施）、期末20円（据置き）の**合計40円**

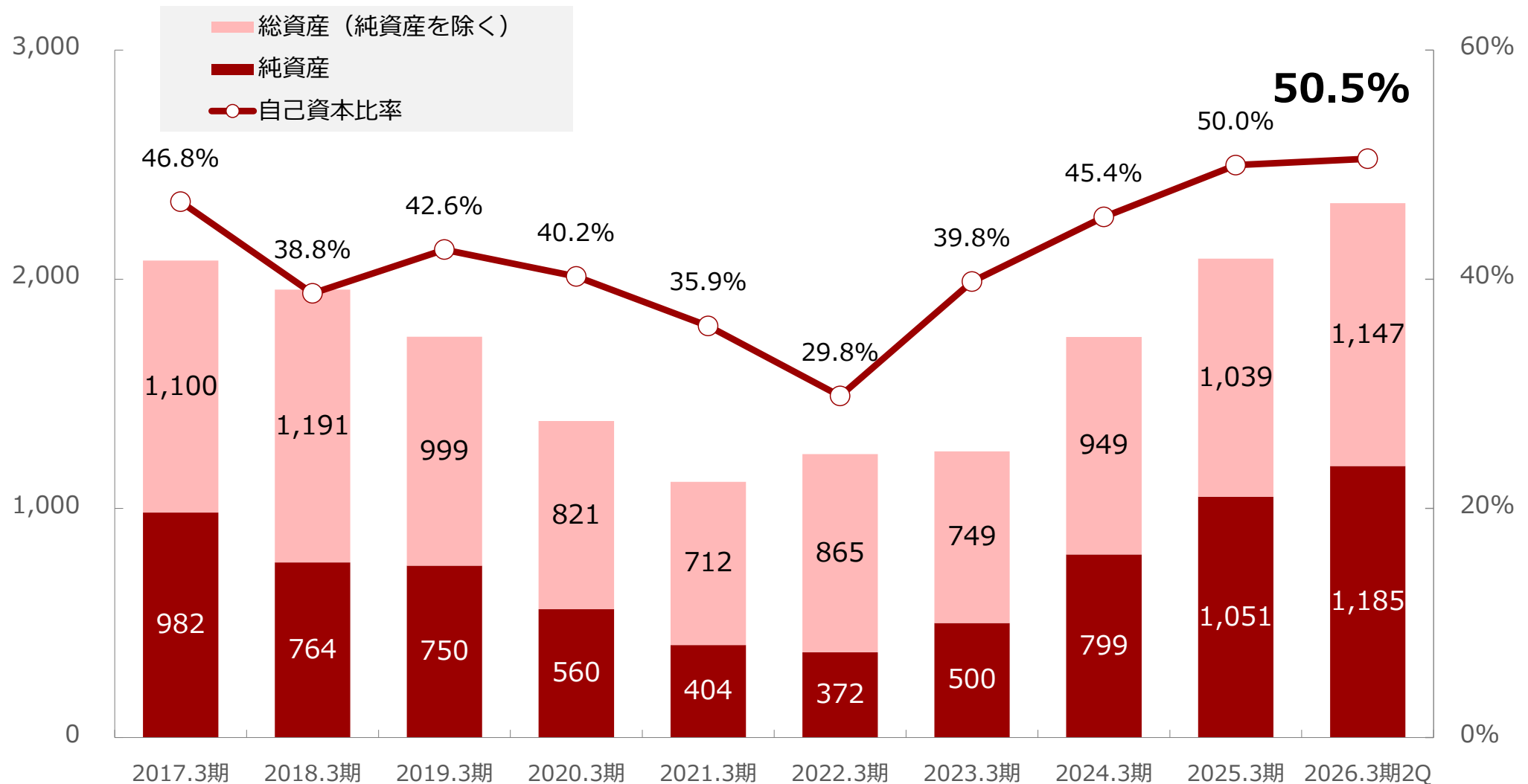
# 財務状況の推移（連結）



## ◆ 長期格付

2024年3月：BBB-（ポジティブ）⇒ 2025年3月：BBB（安定的）へ

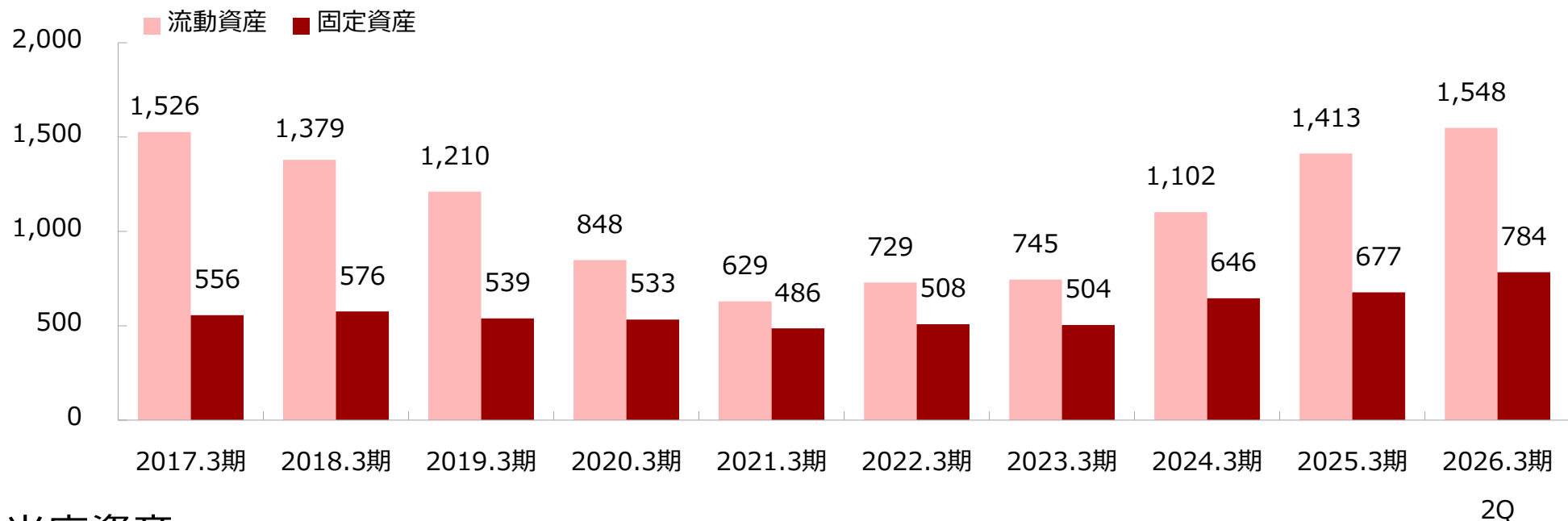
総資産・純資産（左軸：億円）および自己資本比率（右軸）



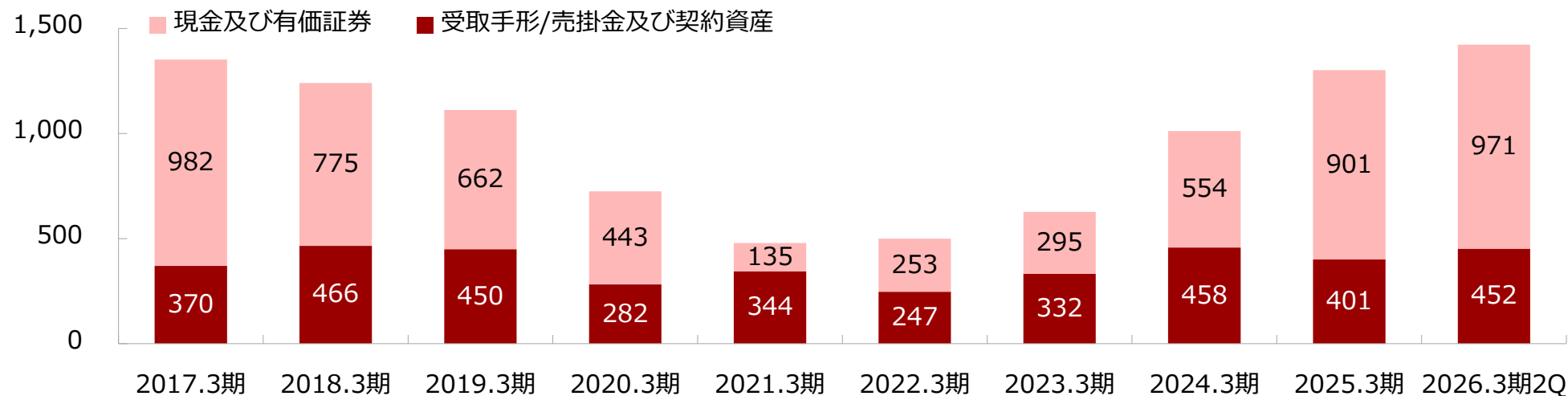
# 財務状況の推移（連結）



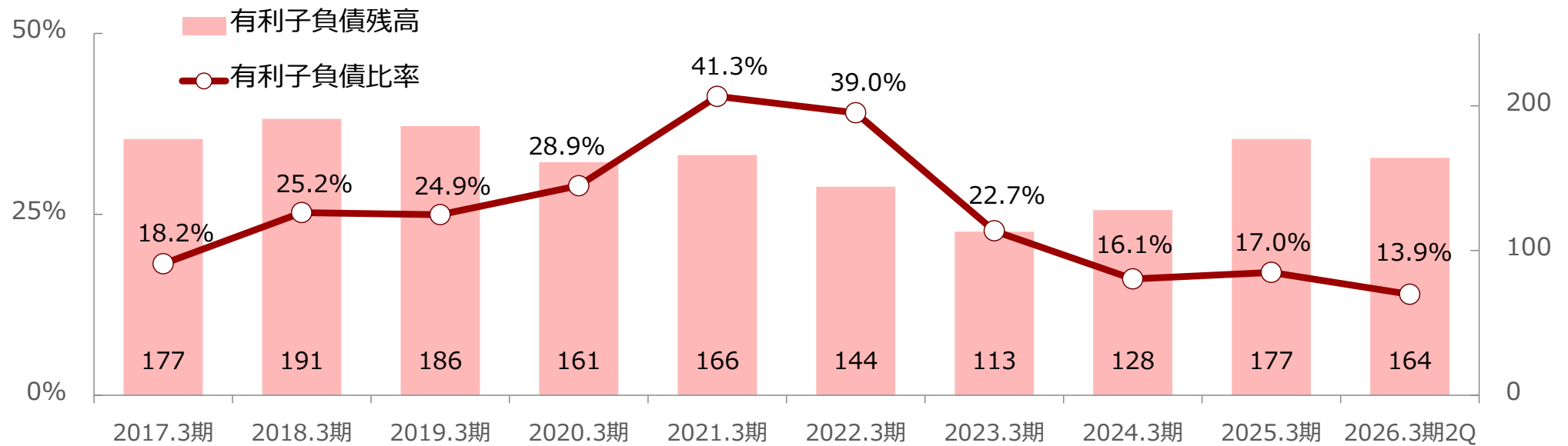
## 流動資産・固定資産（単位：億円）



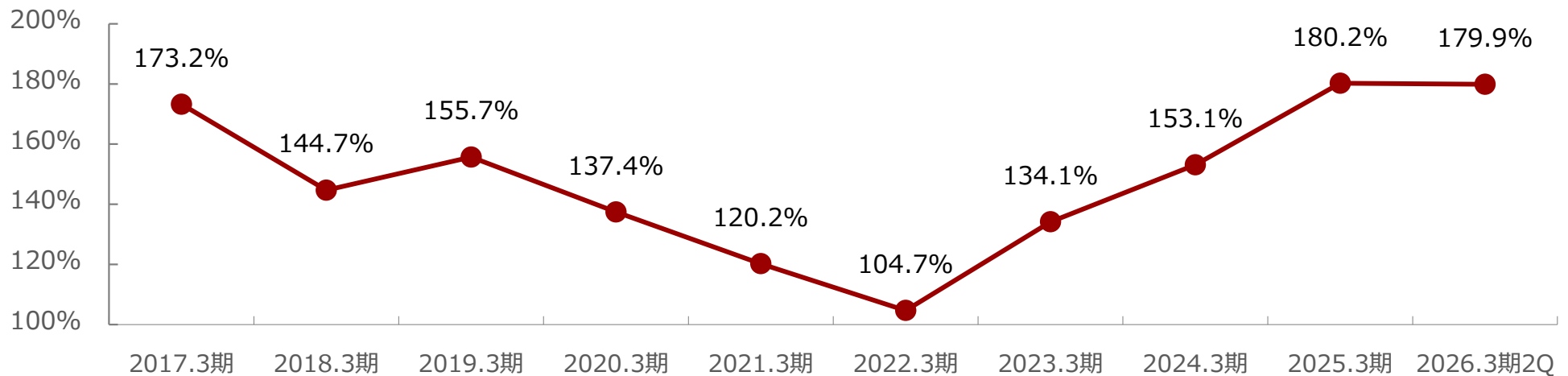
## 当座資産（単位：億円）



有利子負債比率 (左軸) および有利子負債残高 (右軸：億円)



流動比率 (%)





# Go to the Next stage.

## Worldwide Presence NAMURA



株式会社 名村造船所  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.

本資料のうち、業績見通し等に関する将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際に業績は、政治経済情勢などをはじめとする様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。